

gコンテンツワールド2015 パネルディスカッション まとめ パネルディスカッション 『日本の未来像を描こう』

2015年11月26日 15:35-16:50

パネリスト(順不同):

慶應義塾大学 准教授 神武 直彦 氏

ゼンリンデータコム 副部長 足立 龍太郎 氏

マルティスープ 代表取締役 那須 俊宗 氏

武雄市役所 森 一也 氏

モデレータ: JIPDEC 坂下 哲也

2 主旨

- 今年のgコンテンツワールド2015のテーマは、「**データを活用して(日本の)未来を創ろう!**」
- この背景には
 - ビッグデータ、パーソナルデータ、オープンデータなどの**データ**を**利活用する動きが、昨年以上に活発化**していること。
 - RESAS(地域経済分析システム)、DIASなど
 - IoT(Internet of things:モノのインターネット)などの動きが活発化し、**リアルタイムに創出されるデータを利用する動きが顕在化**していること。
 - 大企業とベンチャーのマッチング(IOT推進ラボ)など
 - **準天頂衛星**の高精度測位環境(2018年4機体制)、**屋内空間**の利用などが活発化していること

3 本日の各講演のメッセージ(フランク調)

○ 足立さん

- 私たちが発信している位置情報(移動履歴など)の利用によって、社会システムの全体最適が図れそうだぞ！

○ 相原先生

- 定量的に取得したデータと、位置情報を結び付けることによって、「人の行動の実像＝実際の社会の可視化』が図れそうだぞ！

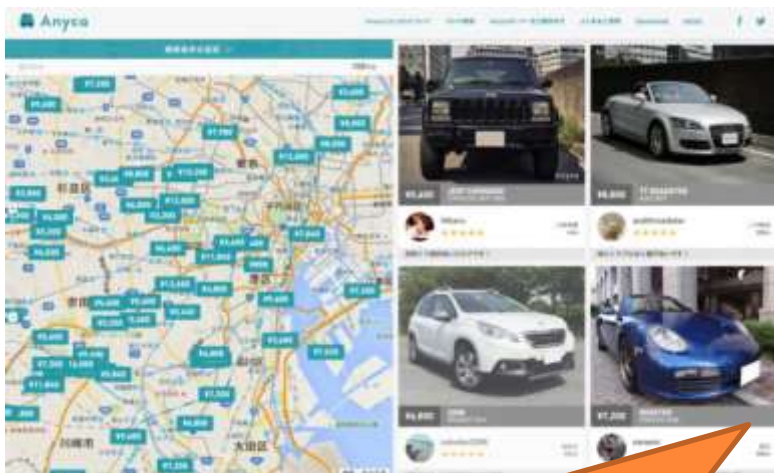
○ 村上さん

- マイナンバー、法人番号をはじめ、機械的に一意に特定できる社会システムが構築

4 今日の講演のキーワード

○ データ利用

- プラットフォームを通じて、BtoBで連携
- 持っているデータをオープン化
- 持っているデータをシェア
- 新たに取得したいデータについて、技術を開発して取得



「所有」よりも「アクセス」が実用的な時代においては、身近な人間関係を超えた、新しい他人との共有型経済の発生？

個人間の自動車の共同使用をマッチングするAnyca(エニカ)事業(DeNA)

- 稼働率3%の自家用車をシェア
- 遊休資産活用に貢献
- 車の稼働率を上げて、買い替えを促進
- ★高精度な測位・地図が必要
- ★オンラインで完結できる仕組みが必要(紙の処理の撤廃)

5 登壇者に事前をお願いしていたテーマ

○ テーマ

- 本日、お話頂いたモノが、2030年後に、どのように具体的になっているのか？または、更に洗練されているのか？（足立さん、那須さん）
- ソーシャルの位置づけ、産学の連携は、どのように変化しているのか？（神武先生）
- その時に、自治体の役割はどう変化しているのでしょうか？（森さん）

6 ファンダメンタルズ

	高度成長期から2000年	2030年
人口	大都市への人口流入、地方の高齢化	大都市の高齢化、地方の人口減少
団塊の世代	産業の中心的存在	後期高齢者
単身者	若者単身世帯、若者文化	高齢者単身世帯、ひきこもり
社会保障	社会保障充実	社会保障限界
就業	終身雇用	生涯就業、若者の就業機会増加
生命	長寿命化	健康寿命の延伸
健康	若年層中心で軽視しがち	個人的、且つ社会的課題
医療機関	病院増加	病院閉院、診療科目減少
財政	財政規模拡大	債務削減
地域	郊外へのスプロール	空き家・空き地
土地の権利関係	農地の宅地化、細分化、共有化	不在土地所有者の増加、相続複雑化
商業集積	大都市の高集積化・郊外化 地方のシャッター商店街化	店舗数減少、無店舗地域の増加 大都市近郊のシャッター商店街
繁華街	若者を中心とした賑わい	集積急減
マンション	大量供給熱	建て替え問題
一戸建て	ミニ戸建の増加	高齢者に不向きな家増加
交通	交通量の増加に伴う道路網整備	車、EV、自動運転など混在
都市インフラ	充実	老朽化
産業	高度化	国際競争激化
資源	資源活用	資源獲得競争の激化

7 パネル登壇者のご意見

○ 足立さん

- ライフスタイルの変化、社会インフラの変化、テクノロジーの進展は止められない。では、課題をどうするか
 - 対処療法的な方法ではなく、課題をどう「最適化」していくかというアプローチで臨むべき
 - 人が減っていく中で、人的リソースの再配分によりいかに同レベルの水準を保てるかがポイント
 - まずリアルの全体像をつかむことが重要。テクノロジーなどの進展により考えられない領域から最適化が進むのではないか。
 - 全体を把握することにより、共助力や福祉がより最適化されシェアされる。
 - しかし、高度に管理された世界と、個人の意思と選択の不便の世界とで二極化する可能性もある

8 パネル登壇者のご意見

○ 神武先生

- それぞれが持っているスキル等が多様であるが、それらを連携して経済を回す。(オープン・イノベーション)
 - 能力の公開、シェアによる新しい可能性
 - 地域課題を解決するために多様な主体を連携させる。
- フィールドワークが大事(川崎市宮前区)延べ500人参加
 - フィールドワークの中で気づきがあった。
 - 起業も発生(思い出坂のビンゴ、じじばばウォッチ)
- アイデアソン→ハッカソン→マーケソン
 - ハッカソンからビジネスにつながらない。(継続性が課題)
- ステークホルダーを抽出して、システムエンジニアリングを導入
 - イベントの間・間でセミナーなどを開き、継続性を担保
- ただ、場を作るだけではだめ。
 - 場、プロセス、人が必要(キャパビル/適切な能力を持っていない場合が多いので、育成をする。学びあうの意味。)
 - 体験をシェアして、プロセスが生まれている。
- 産学の連携
 - プロトタイプは学がトライアルし、継続的なビジネス展開は業界がしっかりと運用する役割分担ができると良い

9

パネル登壇者のご意見

○ 那須さん

- モバイル位置情報、空間情報のソリューションベンダー(2000年から)
 - iField/iFieldIndoor(工場、病院など)
 - 法人的な先駆的な事業者(外国を含)
 - 2007年からGPS義務化→スタンプ(観光)→新潟(天地人)、奈良(遷都)、平泉(世界遺産)など
- 観光
 - JIATSUME/プラットフォーム
 - 災害が起きると、通知する。
 - データのシェアができないと難しい。
- ガラケー時代は位置情報サービスが立ち上がらないことが多かったが、スマホで障壁がなくなった。
- 位置情報だけでは色っぽくない。(コンテキストが必要)
 - 歩道にいる、駅に向かってあるいている、
 - 走っている→川沿い
 - 工場で、製品データとマッシュアップ
 - バイク便などの仕組み
 - センサーでできるようになってきた。
- 継続性のある「ヒューマン」を介在させたサービスでないと豊かな社会にならない。
 - モデルの設計は重要

10 パネル登壇者のご意見

○ 森さん

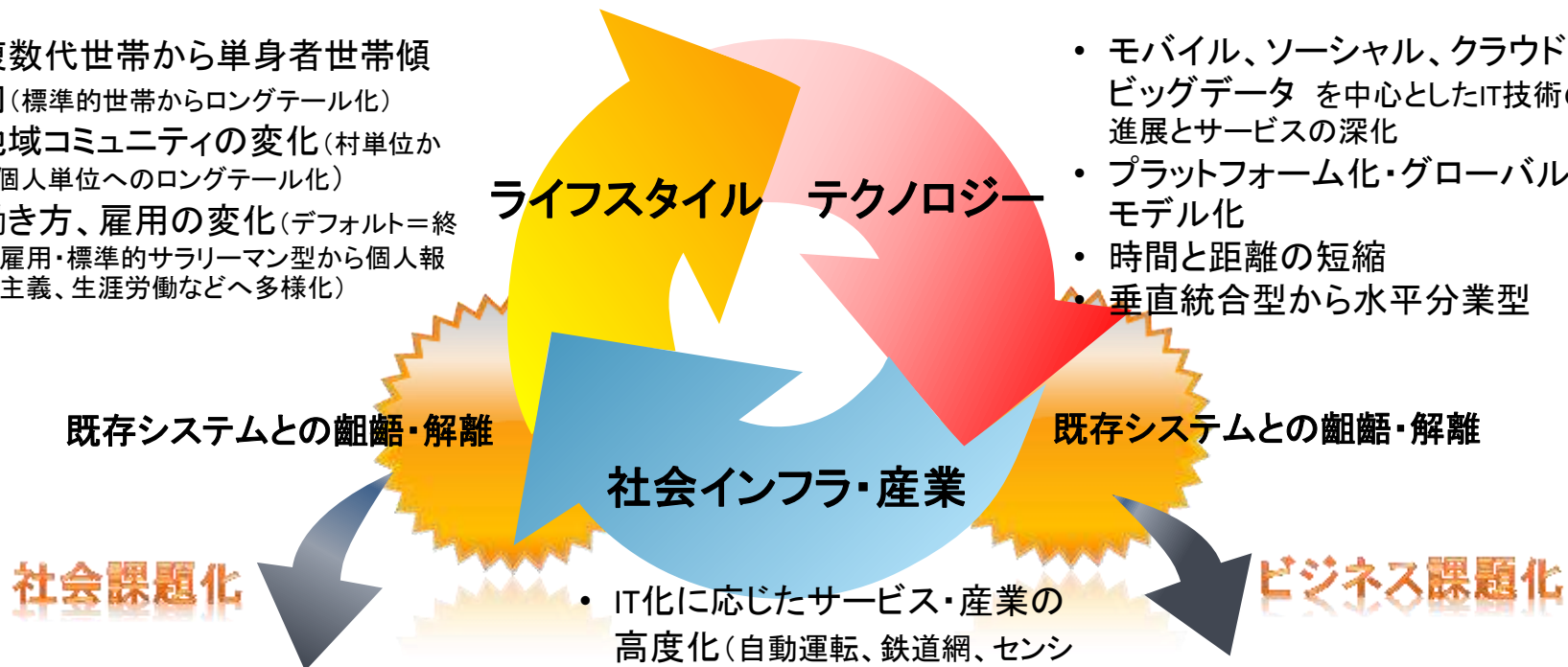
- 7月29日樋渡元市長が記者会見(トーンというスマートフォンの会社社長)
 - リアル図書館戦争(昨日)
- 11月22日移住交流情報ガーデンで移住フェア
 - クラウドワークスのマッチング・イベントがきっかけ
 - 83名が集まり、11名が移住相談、4名移住へ
- 武雄市は5万人、2030年4万4000人、2040年4万人になる。
 - 人口の移動がある。(武雄町、朝日町の中心部に人が集まっている。)
 - 世帯は増えている。
 - 人が減っても、インフラなど公的サービスが必要
- 9つの町があり、そこにはコミュニティ(地区)107ある。班が1282ある。1班が20世帯。この推移が課題。
- まちデザイン
 - 12/2から街中のデザインを変える議論が始まる。
 - 空き店舗が増えている。
 - 全棟調査を実施(430→600、所有者の意向・外観→データベース化し、公開)【シェア】
- 小集落に移住したいという人がいる。その地区のまとまりの中で、モノゴトが進んでいく。(中山間地域)
- 従来の仕事の代わりに「人と人のつながり」についての仕事が行政サービスになる

11

議論を元に「課題」についてまとめると・・・

- 複数代世帯から単身者世帯傾向（標準的世帯からロングテール化）
- 地域コミュニティの変化（村単位から個人単位へのロングテール化）
- 働き方、雇用の変化（デフォルト＝終身雇用・標準的サラリーマン型から個人報酬主義、生涯労働などへ多様化）

- モバイル、ソーシャル、クラウド、ビッグデータ を中心としたIT技術の進展とサービスの深化
- プラットフォーム化・グローバルモデル化
- 時間と距離の短縮
- 垂直統合型から水平分業型



少子高齢化

（税収減、社会保障費増大、限界集落、医師不足、無店舗地域、空き家、都市インフラの老朽化）

- IT化に応じたサービス・産業の高度化（自動運転、鉄道網、センシングによる混雑・天候などの予測、見守り、効率化、）
- ビジネスのグローバルモデル展開・サプライチェーン
- 垂直統合型から水平分業型へ
- 重厚長大から省力・高効率・小型

国際競争の激化

資源獲得競争、経済戦争、タックスヘイブン、人材不足、異文化共生、難民、新たな冷戦・南北問題

地理空間情報が生み出すコラボラティブ(協調的な)活動

13

地理空間情報が威力を発揮するのはどこだ！？ シェアリングエコノミー

どの分野も時間と空間が大事



ハコベル (配送)
hacobell

bento.jp (弁当配送)

nottecó (相乗り)

今すぐ配達 (LINE)

NOKI SAKI BUSINESS 軒先.com
(空きスペースシェア)

SHOPCOUNTER
(ポップアップショップ、空きスペース)

シェア畑
(遊休地、休閒農地活用)

akippa アキッパ
(駐車場シェア)

SPACEMARKET スペースマーケット
(空きスペースシェア)

● 伝統サポーターズ (伝統技術ファンド)

JAPANGIVING. (寄付ファンド)

friendsurance (保険)

TransferWise (海外送金シェア)

はたらく人財印刷
ラゲージ (設備シェア)

TABICA (観光、旅シェア)

KitchHike (家庭料理シェア)

FLOOWE2 world's reset button (設備シェア)

ANYTIMES
エニタイムス(家事代行)

vis ビザスク ビザスク
SPOT CONSULTING (スポットコンサル)

A-s-Mama Inc. アズママ
アズママ(子育てシェア)

おねがいWOW おねがいNOW(家事代行)

St. Street academy (スキルシェア、他)

coconala (スキルシェア
ココナラ 家事代行、他)

TIME TICKET (空き時間シェア)

Anycar エニカ(カーシェア)

mercari メルカリ(フリマ)

monococo モノエコ(フリマ)

WaWaWa 物々交換サイト
(物々交換)

Etsy (自作品販売)

2016/11
Contents

14 これまでのインターネット

- 人と人、人とアプリケーションを結びつけるためのものであり、利用者が主体的に操作することで情報のやり取りが行われてきた



市民

写メ撮って連絡



工事・修理など



自治体

○法定点検の義務化(下水道)

ケンプラッツ

●お知らせ

ケンプラッツを雑誌別サイトに移行します

トップ	建築・住宅	土木	不動産	街づくり	IT
-----	-------	----	-----	------	----

土木トップ > ニュースとコラム > 記事 (前のページ)

下水道も「5年に1回」の点検義務

2015/11/24

日経 **CONSTRUCTION**

インフラ老朽化問題が深刻化するなか、改正下水道法が11月19日に全面施行され、下水道管などの排水施設を5年に1回以上点検することが自治体に義務付けられた。

■公共下水道の点検制度の概要



⊕ クリックで拡大
国土交通省の資料をもとに日経CONSTRUCTIONが作成

※出展 日経CONSTRUCTION

16 IoTでは……

- 多様かつスマートなモノを接続し、よりダイナミックで自律的な情報のやり取りを実現

